

〈協働での相互評価〉

7年生:技術 「身の回りの製品にはどのような工夫があるのか？」

1時間の授業で、使用した機能は、以下の通りです。

【授業前】タイピング練習(寿司打)、ミニトマトの栽培記録[スライド]の確認(グループ)、友達の見つけた製品の工夫(スライド)へのコメント(グループ)、スライドでまとめ(個人)、フォームで振り返り(個人)

タブレットを「道具」として活用できるので、授業のあらゆる場面で使用することができます。



栽培記録

5月 26日 (日曜日) 天気 晴れ

記録写真

[管理作業] ○印			
水やり	○	誘引	
摘芽		追肥	
その他			

[気がついたこと・感想など]

- ・大きな実が出来ていた。
- ・初めより少し大きくなっていた。

記録写真と、そこからの気づきを、同時に保存することが容易なのもICTの特徴です。

7年1組15番 名前

私が注目したもの: シャーペン クルトガ

写真



工夫してあるところ

- ・勝手に芯が出てこない
- ・ポケットに挟めるクリップが付いている
- ・芯が入れやすい
- ・芯の太さが変わらなくて書きやすい

思ったこと

いつも使ってるシャーペンにこんなにたくさんの工夫があっぴくりした

コメント機能を使うことで、容易にお互いの気づきへのコメントをし、自分の見方を広げることができます。タブレットのメリットを生かすことで、効率よく学習を進め、思考したり表現したりする学習に時間を割くことができます。